

婦人科疾患で内視鏡手術を受けた患者さんへ

地方独立行政法人大牟田市立病院では、他施設と共同で実施する下記研究のために、受診時に患者さんから取得された診療情報等を共同研究機関に提供しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ先までご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本件研究の対象者に該当されると思われる方またはその代理人の方で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。なお、その申し出は研究成果公表前までとなりますのでご了承願います。

研究課題名	日本産科婦人科内視鏡学会における手術および合併症登録
共同研究の研究代表機関 および研究代表者（試料・ 情報の管理責任者）	研究機関：本産科婦人科内視鏡学会 調査普及委員会 研究代表者：鳥取大学医学部附属病院 原田 省 試料・診療情報等の提供先：日本産科婦人科内視鏡学会事務局 保管責任者：調査普及委員会委員長 原田 省
研究分担施設・ 研究責任者	鳥取大学医学部産婦人科：谷口 文紀 東京大学医学部産婦人科：宮本 雄一郎 慶應義塾大学医学部産婦人科：山上 亘 久我山病院産婦人科：山本 泰弘 既存試料・情報の提供のみを行う施設 日本産科婦人科内視鏡学会における手術および合併症登録参加施設
承認した倫理委員会	鳥取大学医学部倫理審査委員会
研究の目的と意義	本研究は、本邦の産婦人科内視鏡下手術の現状把握により医療の質の維持、向上に役立て、患者に最善の医療を提供することに貢献することを目的とする。本研究で集められたデータを分析することで、以下のことを明らかにできる。 ○ 内視鏡手術を行っている施設の特徴 ○ 医療水準の評価 ○ 手術を受けた方の予後 ○ これから手術を受ける方の合併症の危険性など これにより、各医療施設の特徴や課題をはっきりと理解した上で改善にとりくむことができ、また、地域レベル、全国レベルで医療の水準を明らかにして、地域単位、国単位で比較することもできる。また、手術にともなうリスクを明らかにすることで、同様の治療を受けようとする患者やその家族へ適切な情報提供が可能となる。加えて、さまざまな研究と連携して運営することで、臨床がさらに充実した医療を提供できるようとりくむ手助けをすることができる。この目的を達成するために、日本産科婦人科内視鏡学会において、認定研修施設および技術認定医制度と連携した内視鏡下手術症例登録のデータベース事業が実施することとした。本研究は、全国の医療施設における手術・治療情報・合併症の登録調査とその報告である。

	この登録データを利用し、日本での手術内容の動向、合併症などの周術期成績に関し、不明である事項について解析を行うことは合目的的であり、本邦での内視鏡手術の治療均霏化、発展、予後改善をはかる上で重要である。
調査データ 該当期間	病院長の研究実施許可日から 2025 年 12 月 31 日までの情報を調査対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる方 受診科 : 地方独立行政法人大牟田市立病院婦人科 対象疾患 : 婦人科疾患で内視鏡手術を受けた方</p> <p>●研究の実施期間 病院長の研究実施許可日から 2026 年 12 月 31 日まで</p> <p>●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します ・ 診断名、施行手術術式、手術時間 ・ 合併症に関する情報</p>
試料・情報の授受 方法	<input type="checkbox"/> 郵送・宅配 <input checked="" type="checkbox"/> 電子的配信 <input type="checkbox"/> 直接手渡し <input type="checkbox"/> その他 ()
情報の保護	<p>研究に関わる関係者は、対象となる患者さんの個人情報およびプライバシーの保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。</p> <p>対象となる患者さんの個人情報は、個人情報が特定できないように加工を行い、その個人情報を復元できる情報(対応表)は、当院研究責任者が保管します。また、試料・診療情報等の提供先には、対応表は提供せず、個人の識別ができないよう措置をおこないます。</p>
当院の責任者	産婦人科 那須 洋紀
試料・情報の提供の の辞退に関するお申 し出先・お問い合わせ 先	<p>地方独立行政法人大牟田市立病院 産婦人科 那須 洋紀</p> <p>臨床研究管理室 電話 : 0944-53-1061 (平日 9 時~16 時)</p>
備考・その他	